

# シマフクロウ研究者プロフィール

## 竹中 健（たけなか たけし）氏（シマフクロウ環境研究会 代表）

1991年からシマフクロウの研究と保護活動を始めます。  
分布変化と生息環境の研究で博士号を取得。  
多数の生息地の繁殖状況をモニタリングし、各生息環境の特徴把握や定量化を長年試みている。  
現地調査に基づき最新の状況や問題点をいち早く把握し、各種行政機関と情報共有しながら保護を進めることに努めている。  
大阪府出身

## 山本 純郎（やまもと すみお）氏（シマフクロウ保護・研究家）

シマフクロウの保護活動（巣箱架けや標識調査）の先駆者。  
1984年に始まった環境省の保護増殖事業は、山本氏の活動を基礎にしている。  
給餌や保護個体の飼育を通してシマフクロウの生態を解明してきた。  
シマフクロウの巣箱も山本氏が考案したものである。  
京都府出身

## 早矢仕 有子（はやし ゆうこ）氏（北海学園大学 教授）

1987年からシマフクロウの生態を研究。  
シマフクロウの研究で博士号を取得。  
主に十勝地方のシマフクロウの生態研究に取組み、人為的な悪影響についての分析とその回避策の提案に奮闘している。  
2022年に、あるシマフクロウの家族を32年間、見守り続けた研究者の汗と涙の記録『シマフクロウ 家族の物語』を出版。  
大阪府出身